

# 金剛寶戒寺便り

http://www.toudaiji.jp

平成三十年三月一日発行 第四十八号

檀信徒の皆さま、こんにちは。同じ気温九度でも秋から冬に向かう九度と冬から春へのそれとでは全く違う感じがします。人間、多少の試練があつた方が物事を温かく感じる事が出来るのかもしれない。我以外皆師也。四季も多くの事を教えてくれます。

二月の講習会は大変寒い中でのお話となりました。講師の徳丸公人さんはご自身が十九歳と二十六歳の時にお父さま、お母さまを亡くされたこと。また二十二年間お勤めになつた葬祭業の経験から生前整理の必要性を感じられて、その普及の為に生前整理アドバイザー認定指導員として活動されています。

同じ整理でも生前整理と遺品整理では大きく異なること、特に費用面での違い（生前の方が格安で済む）や自分の意思や思いを反映することが出来るといった説明、ゴミの処理方法は市町村によって違う事。一度に全ての整理は出来ないのです、こまめに一日に一時間程度を限度に、十五分でも良いので少しずつ、一カ所ずつでも片付け始める様に勧められています。

また元気の良い時からの生前整理を勧める理由として①決断力②判断力③分別力④モノの管理能力⑤体力の充実を挙げていました。そして、ただ漠然と掃除をするのではなく「な

ぜ部屋が散らかつたのかを考えながら整理をする事が肝心」だと説明されていたのが印象的でした。その様な習慣を身につけることにより、物の管理や把握が出来るようになり、衝動買いが抑えられるとの説明でした。

また遺品整理の場合ほとんど丸投げで業者に委託する事が多いので、モノの紛失や相続人間でのトラブルになる事も多いそうです。話は変わりますが、過去、最高の十三個のメダルを獲得した冬季のオリンピックにはたくさんの感動をもらいました。メダルを獲得した選手ばかりでなく、入賞した選手や選落ちをした選手にもそれぞれのドラマが有り、明るいニュースを届けてくれました。そして選手のインタビューを聞いてみると共通して出て来る発言が、自分を支えてくれた人たちへの「感謝」と「精進」という言葉です。世界で活躍する一流のアスリートが共通して持っている認識ですから間違えの無い考え方、生き方なのだと思います。「精進」と言うとか古臭い感じがするかもしれませんが、肉体だけでなく精神的な鍛練もそこに含まれるので、好んで使われているのかもしれない。

日時 四月八日（日曜日）午前十時から  
場所 金剛宝戒寺本堂に於いて  
講義 「六波羅蜜行のススメ」  
講師 当山住職

来月は私がお話をさせて頂く予定です。六

波羅蜜とは大乘仏教の中で説く六つの修行です。その中には「精進」も含まれていますし、十善戒の中には「言葉」の行いが四つも取り上げられています。次の様なお釈迦様の古い經典の中の言葉などを参照にお話をしたいと思います。

どんな悪をもなさず、  
あらゆる善いことをし、  
おのの心を清くする、  
それが仏の教えである。

学生時代は、ずっと体育会系で身体を動かしてきました。今は全く運動をしていませんがスポーツ観戦は何でも好きです。何よりも選手たちの勝負時の引き締まった顔と、その後の素敵な笑顔。カーリング女子に象徴される様にはじける笑顔が人々を引き付けるのは万国共通の様です。帰国後の会見で「自分の為に笑顔をやさなかつた」と言っていたのにとっても感じ入りました。

笑顔  
あなたの笑顔が  
まわりの空気をかえる  
そして 人の心をかえる

今、お寺の玄関先に貼ってあるポスターです。「和顔愛語」誰にでもすぐに始められる修行ですが継続は難しいものです。 合掌